

再エネ + 蓄電池 で実現する

Nipron
GAZE into the future.

ピークカット デマンド抑制



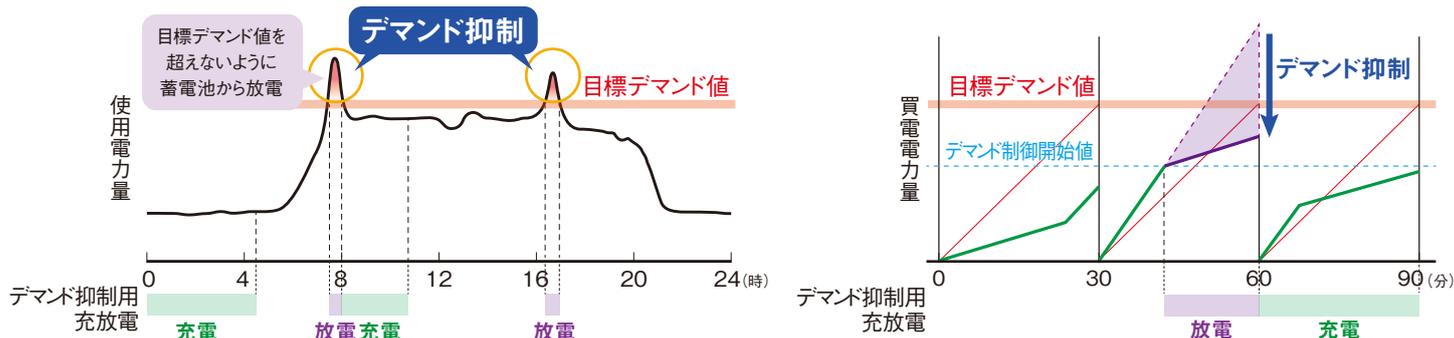
PV Oasis
オプション機能

最大デマンドを抑制し電気料金の削減に貢献

太陽光発電の余剰電力や深夜電力を蓄電池に充電し、電力ピークが発生した場合は最大デマンドを抑制することで、基本料金を低減します。

■ デマンド抑制動作イメージ

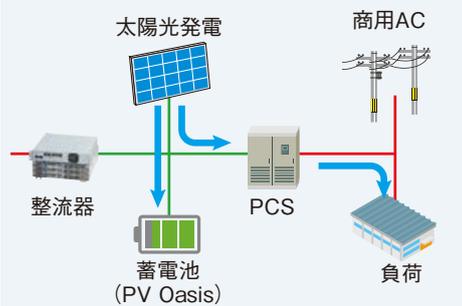
30分毎の使用電力量を観測し、予め設定した電力量(デマンド制御開始値)を超えた時点で蓄電池から自動で放電を行うことで買電電力を減らし、平均電力値(デマンド値)を抑制します。デマンド”予測”ではなく、”観測”による抑制のため、蓄電池容量がある限り、確実にデマンド抑制が可能です。



■ システム動作イメージ

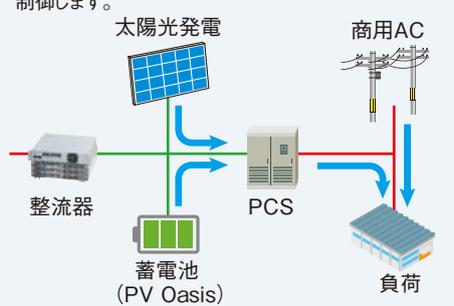
オフピーク時

オフピーク時は太陽光発電の電力を自家消費し、余剰電力を蓄電池に充電します。



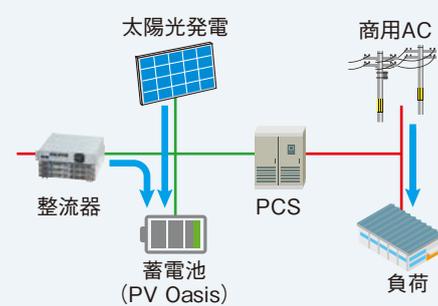
デマンドピーク時

ピーク時には、太陽光発電の電力を自家消費すると同時に、蓄電池からも電力を供給しデマンドピークを制御します。



オフピーク時 (強制充電時)

オフピーク時、太陽光発電だけで充電電力が不足する場合は、整流器からの強制充電も可能です。



最大デマンドとは?

電気料金は主に使用料金と基本料金で構成されており、基本料金は「最大デマンド値」をもとに決まります。

デマンド値とは、30分ごとの平均電力のことで、その中で最も大きな「最大デマンド値」が契約電力として適用されます。

契約電力500kW未満の場合

当月を含む過去1年間の最大デマンド値が基本料金の算定基準となります。一度でも大きなデマンドが発生すると、その値が1年間適用されてしまいます。

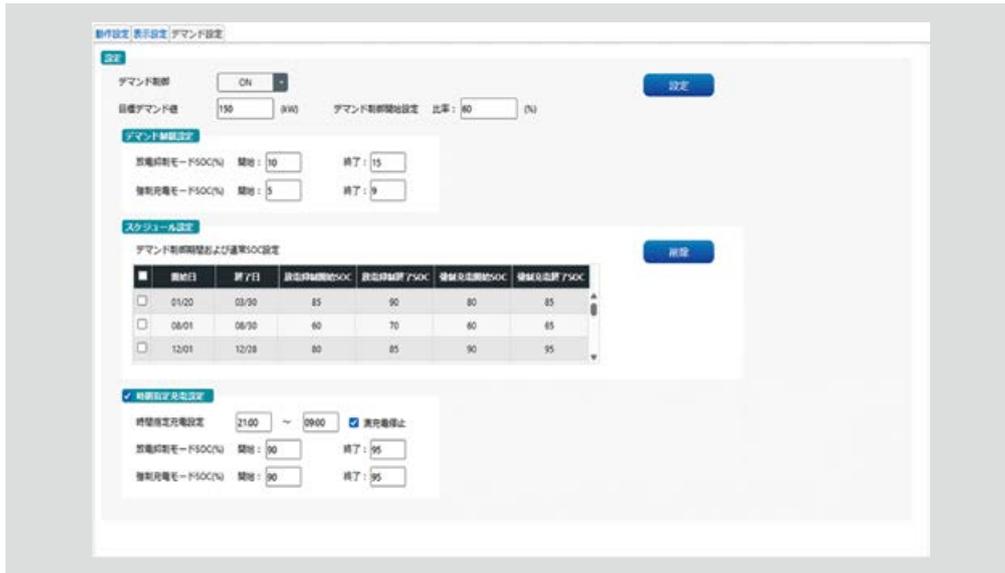
契約電力500kW以上の場合

協議によって契約電力を設定しますが、最大デマンド値がこれを超えると、割増の違約金の発生や契約電力の見直しが必要となります。

最大デマンドの抑制が基本料金を下げる重要なポイント

自由度の高いスケジュール運転

■ 設定画面イメージ



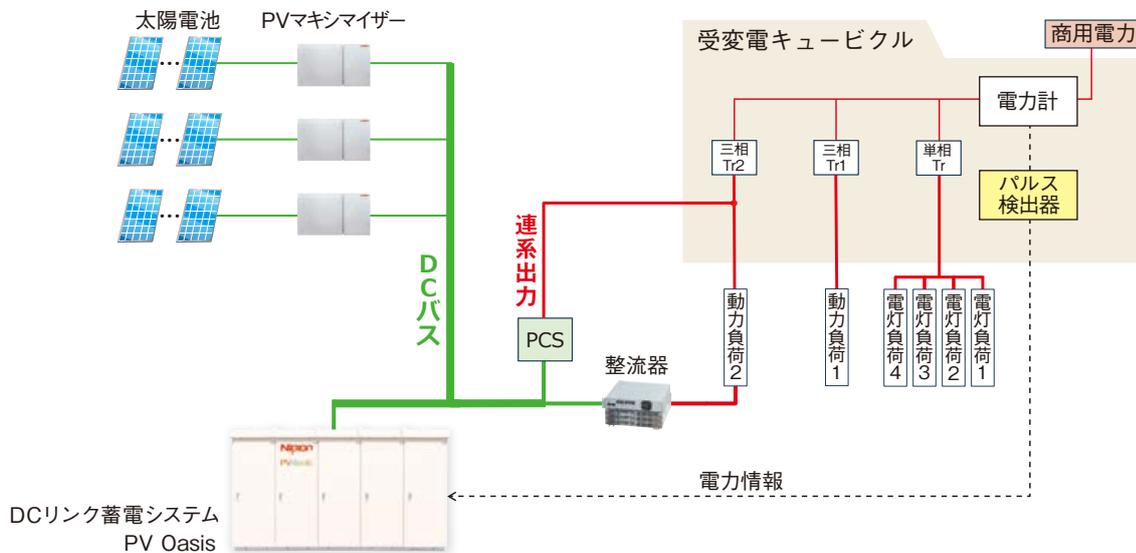
■ 機能紹介

- 放電制御開始タイミングや、強制充電タイミングを、1%単位で細かく設定可能
- 任意の目標デマンド値を1kW単位で設定可能
- 設定した日時や時間帯に合わせて、デマンド制御を自動的に動作させるスケジュール機能搭載
- 強制充電時間の設定が可能

その他特長

- 災害の発生が予見される場合はBCP対策としても活用可能
- 時間指定充電機能により深夜電力の活用も可能

接続イメージ図



※デマンド抑制機能のご利用には、別途三菱電機株式会社製のパルス検出器「PC-11B」が必要となります。また、電力会社にパルス利用の申込みが必要となります。



PV Oasisの
詳細カタログはこちら
https://www.nipron.co.jp/extra/product_catalog_data/PVOasis.pdf

PVマキシマイザーの
詳細カタログはこちら
https://www.nipron.co.jp/extra/product_catalog_data/PVM_jp.pdf



株式会社ニプロン E-mail support@nipron.co.jp

●グリーンパワー営業部 〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町1丁目3番30号
●首都圏オフィス 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2丁目4-6 マスニ第一ビル 5階

TEL:06-6487-0611
TEL:070-1573-2975